



2021年 気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第2号



令和3年5月20日発行

庄内総合支庁

酒田農業技術普及課

TEL(22)-6521 Fax(22)-6522

活着は良好です！ 「つや姫」も「雪若丸」もこまめな水管理で 初期茎数をしっかり確保しましょう！

管内での田植えも終盤となっています。天候も概ね良好なため活着は良好です。

「つや姫」も「雪若丸」も有効茎確保期は6月20日頃までです。有効茎＝穂になる茎を目標通り確保するためには、有効茎確保期の管理が非常に重要です。生育に合わせた水管理で必要な茎数をしっかり確保しましょう。

1 こまめな水管理が分けつ促進の基本

○分けつの発生に適する地水温は、25℃程度とされています。活着後は、分けつの発生を促進するために、地水温が上がりやすいよう浅水管理（水深2～3cm）を行うとともに、日較差を確保し生育促進を図るため、水管理は昼間止水、夜間灌漑とします。なお、強風や低温が続く時は、水深をやや深めにして稲体を維持しましょう。6月10日の目標とする茎数は表1のとおりです。

表1 6月10日の生育指標

品種名	草丈	茎数	葉色 (SPAD値)	葉齢
つや姫	27cm	250本/㎡ (11.8本/株)	35	6.7齢
雪若丸	26cm	280本/㎡ (13.2本/株)	41	6.8齢

茎数の()は70株植えの場合の株あたり茎数

2 分けつ発生を抑制する要因を除去

○抑制要因① ワキ

水温を高くすることはばかりに気を取られていると、ワキの発生の気づきが遅れることになります。ワキとは、図1のとおり、稲わらの分解に伴い、有機酸や硫化水素が発生し、稲の根の窒素吸収力と根の伸長を抑制することです。

ワキの程度ごとの対策については、表2（次ページ）に整理してあります。

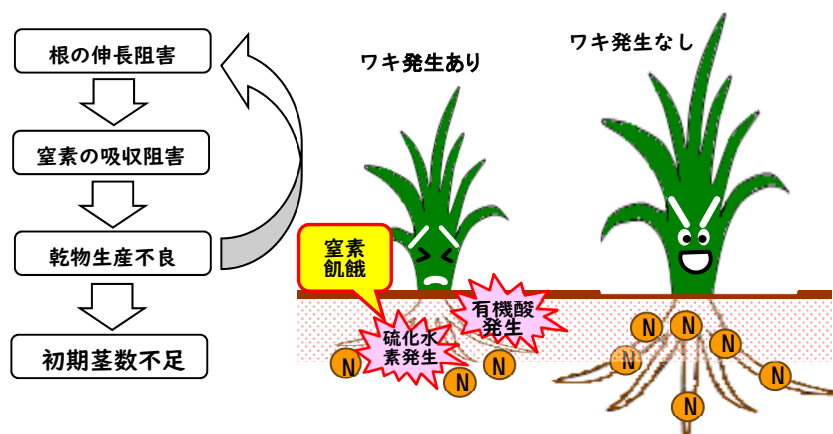


図1 ワキ状態における分けつ抑制のイメージ

表2の生育への影響の欄を見ると分かるように、地上部に影響が見えるころには、地下部のダメージはかなり大きく、立ち直るのにも時間がかかります。気温が高く日差しの強い日が続いた場合は、水田の様子を確認し、天気のおだやかな日をねらい、程度に応じた対策を講じましょう。

表2 分けつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

○抑制要因② 深水管理

初期からの深水管理は、茎数の増加を抑えます。地水温が上がりにくく日較差が小さくなること。稲の窒素吸収量が少なく土壌からのアンモニア態窒素の発現も遅れ気味になるからです。目標とする茎数の確保をまずは優先しましょう。本年は、乾土効果は“並”の発現とみられており、過去2年よりアンモニア態窒素の発現は多くなることが期待されます。土壌から出てくるこの窒素をしっかりと初期生育に活用しましょう。

表3 年次別乾土効果

年次	R3	R2	R1	H30
乾土効果	並	小	小	並～やや小

水田農業研究所調べ

○抑制要因③ 頻繁な水交換、荒天時の落水

いずれも地水温の上昇を妨げます。

3 除草剤処理前は水交換を実施

○これから一発除草剤を散布する場合は、処理前に必ず水交換を行いましょう。除草剤を散布後のワキを予防する効果が期待できます。

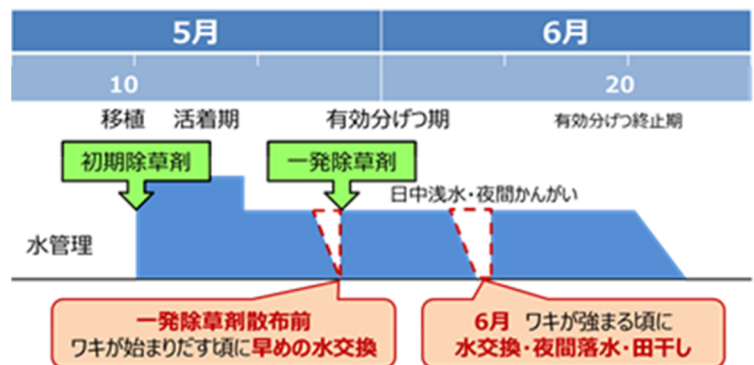


図2 ワキ対策の水管理と除草剤の散布時期のイメージ

4 目標とする生育を確認しましょう

○初期生育の確保が「つや姫」「雪若丸」では特に大切です。有効茎確保期の6月20日までの生育をイメージしましょう。

表4 目標とする生育

品種名	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD)	葉数 (枚)
つや姫	6月10日	27	250	35	6.7
	6月20日	35	460	39	8.3
雪若丸	6月10日	26	280	41	6.8
	6月20日	34	520	44	8.5

1株あたりの目標生育の目安

	栽植密度	
	70株/坪	60株/坪
6月10日	11.8	13.7
6月20日	21.7	25.3
6月10日	13.2	15.4
6月20日	24.5	28.6

1株でも確認できます



「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10～6/10